



駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

● 『森林づくり塾』

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターでは、森林の役割や森林づくりを学び、森林作業の体験や、森林での楽しみ方を通して森林・林業への理解を深める活動として、「森林づくり塾」を開催しています。

また、渡島総合振興局 東部森林室においても、自然とのふれあい、森林や樹木に関する実習や見学を通して森林の働きや楽しみ方などについて学習する「森への誘い講座」を開催しています。

この塾と講座はそれぞれで開催していましたが、平成25年に北海道森林管理局と北海道の間で締結した覚書に基づき、平成26年度からは重複メニューの統合による共同開催の実施、フィールドの共有など、地域の特徴をより活かした住民への木育体験事業として推進しています。

平成29年度の森林づく

り塾には17名の応募があり、単独開催が2回、共同開催が2回、講座生受け入れが2回の計6回と、その他に上記講座への参加を2回実施しましたので、その一部を紹介いたします。

5月28日の第一回塾は単独開催で、函館山の史跡や植林の歴史、スギの巨木で直径や樹高の測り方を学びながら植生観察を行いました。



炎天下での下刈り

6月18日の第二回塾は共同開催により32名が参加、七飯町のカリマ国有林で下刈り作業を体験しました。下刈りは、植栽木を草や笹の被圧から防ぎ、成長を促進させるのが目的で、最初はぎこちない下刈り鎌の使い方が難しかったが、だんだん慣れた

様子で順調に作業を進めていきましたが、炎天下での厳しい作業体験となりました。また、鎌研ぎの講習を行い、切れ味を試して、道具の整備が重要であることを実感していただきました。



手鋸で初めての間伐

7月9日の第三回塾は、講座生の受け入れにより21名が参加、七飯町の軍川国有林でトドマツ人工林の間伐（除伐口類）を体験しました。殆どの参加者が樹を伐ることが初めてでしたが、まず受け口を切り、ツルを残すように追いつきを切り、倒れた樹の枝払い、玉切りまで、手順良く安全に作業を進めていきました。

8月30日は、講座の山の日記念・横津岳自然観

察に塾生が参加し、エゾオヤマリンドウなどを観賞しながら、駒ヶ岳や函館山等を遠望して、登山を楽しみました。

9月24日の第五回塾は、講座生の受け入れにより22名が参加、七飯町の吉野山国有林で広葉樹の植付けを行いました。最初はカミネツコンの組み立てに戸惑っていましたが、徐々に慣れてきて、ミズナラやイタヤカエデなど百七〇本を植付けすることができました。



カミネツコン(※)による植付

今後、特徴ある地域のフィールドを共有して連携した活動を行うことで、参加者が広く一体的に地域の特性を認識できる体験活動として取り組んで参ります。

(※) カミネツコン：再生段ボールから作られた紙ポット。穴を掘らずに地面に置くだけで木を植えることができる。